

「小さな家プロジェクト」 —風の帰還、そしてはてしない旅へ—

平成26年度の事業は風薫る5月、「小さな家をめぐる旅」からスタートしました。「衣・食・住」など暮らしに身近な視点からアートを捉え直そうと企画され、今回は「住」に焦点を当て「小さな家プロジェクト」と題して、5つの連携ミュージアムの所在地域を中心に、埼玉県内各地で20を超えるプログラムを展開しました。^{*1}

「旅する小さな家」の提案を募集したコンペには全国から200を超える応募があり、応募作品展・公開審査を経て、水谷隼人さんと山本恭代さんの《二つの場所で起こること》が最優秀作品に選定されました。受賞者チームの献身的な制作と、審査員のアドバイス、各方面のご協力で、予算や時間の制約をクリアし、11月9日のお披露目にこぎつけました。あいにく雨模様の朝でしたが、昼近くには小止みとなり、シンポジウムや創作ダンス公演をお楽しみいただきました。NHKテレビの昼のニュースで紹介され、午後には多くの方が訪れて「旅する小さな家」の不思議空間を体験しました。^{*2}

立原道造のヒアシンズハウス（風信子荘）前で「旅する小さな家」が公開披露されたことは、とてもシンボリックな出来事です。この日はヒアシンズハウスの竣工10周年記念の「夢まつり」の日でした。この小さな家は、さいたま市が敷地を無償提供し、「ヒアシンズハウスをつくる会」が全国から浄財を募り、建築家チームが手弁当で設計・監修に当たって実現したものです。竣工に当たり、立原の顕彰と建物の公開・保全を図りながら、5坪にも満たないこの小さな家を無限に通じる窓辺として、さまざまな芸術家の交流と連携のシンボルとして活用しようと「ヒアシンズハウスの会」が創られました。それは、戦

争へと傾斜していく暗い時代に「芸術家コロニー」や別所沼の畔に詩人や画家たちとの交流を夢見た立原道造の遺志に倣うものでもありました。

この「ヒアシンズハウスの会」からはじまり、現在のSMFの母体

となるメンバーが集った「さいたまアート懇話会」を経て

2008年にSMFを旗揚げし、文化庁の助成をいただきながらアートプラットフォームの形成をめざすとともに、さまざまな展開を図ってきました。二つの小さな家の前で展開された今回のダンスは、10年の歳月を映して感銘深く、また今後の活動の方向性を示唆してくれているようにも感じられました。

今年度の事業にも「あなたと どこでも アート」実行委員会の名前どおり、まちなかや商店街、公園などで開催されたものが数多くあります。「アート日和」と題した複合的なアートプログラムは、新たなアートの場や楽しみ方の提案であり、そこから生まれる次の協働に期待するものでもありました。

また次年度以降のテーマとなる「衣」や「食」についても、アート散歩「糸のみちー染・織リサーチプログラム」が羽生、越生、川越、川口で開催、アート寺子屋「食と現代アートの融合がもたらすコト」が埼玉大学で開催されるなど、今後の展開を準備しました。^{*3}

あわせてネット上にアートの表現者も仲介者も愛好家も隔てなく交流できるプラットフォームをつくろうと「SMFアート長屋」も始動しました。^{*4} SMFの活動へのあたたかいご理解、ご支援とアートを愛するみなさまのご参画をお待ちしています。

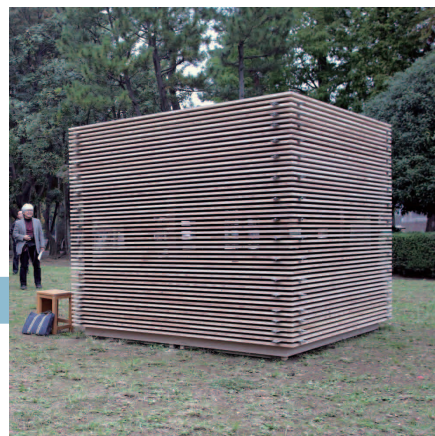
(M.N)

^{*1} 詳細は「あなたと どこでも アート／小さな家プロジェクト」記録集参照、SMFホームページでも3月末以降ご覧いただけます。

^{*2} 「旅する小さな家」の設営・撤収の様子はYOU TUBEでご覧いただけます。「旅する小さな家 完成版」で検索してください。

^{*3} アート寺子屋については、今年度からSMFホームページにアーカイブを開設しました。今年度実施した3本の寺子屋の内容の詳細をネット上で4月から順次公開の予定です。

^{*4} <http://artnagaya.jp> からお気軽にアクセスしてください。



▲小さな家をめぐる旅



▲「旅する小さな家」応募作品展



▲公開審査



▲最優秀作品の前で創作ダンス



▲アート日和@北浦和



▲アート日和@行田



▲「糸のみちー染・織リサーチプログラム」川口



▲「糸のみちー染・織リサーチプログラム」羽生

SMFアートのまつり



▲議場空間でパフォーマンス

1月12日、宮代町の進修館で行われた「アートのまつり」は、SMFで初めての試みながら、密度の濃い、充実した半日となりました。おそらく、空間の力の際立つ場所を選べたのと、手島さんや宮代そぼ打ち隊のみなさんのおもてなしの心に支えられたことが大きかったのでしょう。

もう少し考えてみれば、SMFの拠点は、埼玉県立近代美術館という、いわば県の美術の殿堂といえる場所です。「あなたと どこでも アート」と称していながら、この美術館で行われることで、ある種の権威のようなものがついてきてしまいます。そこを、今回外せることができたような気がします。

もちろんSMFは、県内各地の5つの美術館の連携が骨格になっており、それぞれの場所での試みは続けられていますし、拠点館のない街にもアートを展開してきました。それでも今回が特殊だったのは、SMFの全体がある街に乗り込んで、そこで受け入れてもらえたということではないでしょうか。

さいたま市中心部の密集した息苦しさにと比べると、宮代町には、SMFを受け入れてくれる「すきま」がたくさんあるのです。竹のアートが展開できる田園があったり、町議会が開かれていない時はだれでも議場の空間を使えたり、どこからともなくコスプレの若者が集まったり。おいしいお酒や野菜、そぼ打ちの技術、個性的な小学校、何か日常とアートが上下ではなくて結びついているような…。SMFが目指すのはどうということなのか、まで、想像を膨らませてくれたような気がします。

(Y.A)

SMFアート長屋が 始動しました!

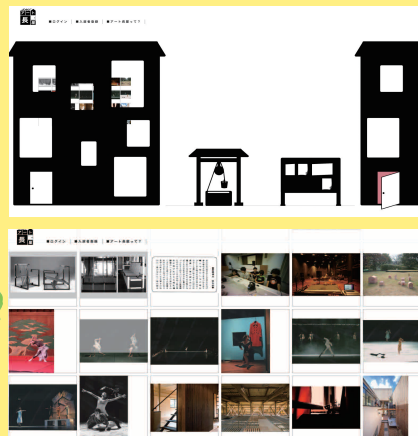
SMFでは、これまでの活動をととしてアートプラットフォームの形成を目指してきました。それをウェブ上で実現するところみが、今回完成した「SMFアート長屋」です。この長屋は、アートをつくりだす側だけが「アーティストック」なのではなく、アートの鑑賞が好きな人、アートワークショップに参加して楽しいと感じた人、日常的になにか工夫をこらして生活している人など、アートにかかわるすべての人びとが「アーティストック」なのではないだろうか、という視点に基づいて構想されたものです。

どのようなウェブ空間をつくっていく必要があるのかについては、〈SMFアート寺子屋2014〉の第一回目として「あなたも今日からアーティスト」と題したシンポジウムを開催したり、制作に協力していただいた(株)キャベツジネットさんとの打合せを重ねながら、徐々にその方向性を確かにしていきました。そこから見えてきたアイデアをもとに、プロやアマチュアという概念を再考しながら、アートに関心をもたれている人びとがさまざまなかたちでアートにかかわる「共同住宅」をイメージしたウェブサイトという構想がまとまってきました。その「共同住宅」は、たんなるアートをつくる側の情報発信やアーティストのデータベースではなく、そこにどう、アートに何らかのかかわりのある多くの人びとの交流をととして、新しい創造のアイデアや場を形成していくことができるような交流空間として発展していくことを理想としています。

だれにでも参加でき、さまざまなかたちでアートとかかわる人びとが気軽にアイデアを出し合うことができ、プロやアマチュアという枠をこえて、たがいに触発されながら成長していくのが「SMFアート長屋」です。それは公開

した瞬間ではなく、公開後の成長過程にこそ、その大きな意味がたちあらわれてくると考えています。

(T.S)



▲パイロット版ウェブサイトトップ

Information



昨年11月にさいたま市の別所沼公園でお披露目となった旅する小さな家。“旅をしていない時はどこにあるの?”と気になっている方も多いことと思います。旅をしていない間は、埼玉県内の倉庫の中で次の「旅」を待っています。次に旅をするのは夏になりそうです。昨年11月の別所沼公園への旅では、1日のみの滞在でしたが、次の旅先ではもう少し長く旅先に滞在してもらおうと計画を進めています。さらにその次の旅はというと、旅支度を考えると冬になりそうなのですが、冬の寒い時期の旅はちょっと…ということで、少し急いで旅支度をして秋のうちには旅をさせたいと考えています。

(S.S)

連携美術館情報

入間市博物館アリット

「エントランス展示「アリットの雛まつり!」

市民の雛人形 2/14~3/15

館蔵の雛人形 2/25~3/22

館所蔵で、地域や所蔵者のわかるものとしては県内最古[文政5年(1822)]の古今雛や大正・昭和の雛人形、市民愛蔵の雛人形を思い出とともに飾ります。

川口市立アートギャラリー・アトリア

「日常事変」

3/14~5/10

普段見ている風景、家の中の日用品、どこから常に聞こえてくる音ーありふれた「日常」から生まれるアートと、アートから生まれる日常。その境界を行き来する現代アート作品がアトリアの中で生まれます。

川越市立美術館

「たまもの in 川越 モネから草間彌生まで

埼玉県立近代美術館の逸品大集合!」

1/24~3/15

埼玉県立近代美術館のコレクションより、65人の作家による約100点の作品群が川越の地で公開中!モネ、ルノワール、ピカソ、草間彌生、李禹煥、中西夏之など、西洋および日本の近代から現代に至る珠玉の美術作品を一堂に展示しています。

埼玉県立近代美術館

「リニューアルオープン記念イベント

もますまつり」

4/11・12、5/2・5・6

MOMASリニューアルオープンを記念して、初日を含む計5日間、「もますまつり」を開催します。トークやワークショップ、コンサートなど盛りだくさんのイベントにぜひお越しください!

(A.O)